2 高大連携に関する取り組みについて

大学全入時代の到来により、大学教育の質保証やアドミッションポリシーの具体的な明示が求められる中、高校と大学との連携により、教育内容や方法等を含めた学びの接続をはかっていくことが重要になってきている。また、特定の中学校・高校との連携を進め、付属校や提携校を拡充する大学が全国的に増加している。

本学においても、建学の精神を同じくする平安中学校・高等学校を付属校とし、さらに2008年度及び2009年度には、一般の高校27校と高大連携協定を締結した。

これにより、高校と大学の連携による「学びの接続」を通じて、有為な人材の育成に取り組んでいる。

1 龍谷大学付属平安中学校・平安高等学校の教育展開

●教科ワーキンググループの活動

龍谷大学付属平安高等学校の国語・社会・数学・理科・外国語の5教科について、引き続き高校と大学の教員による教科ワーキンググループを組織し、同校プログレス・クリエイトのカリキュラムの検証等を行うとともに、付属校第1期生及び第2期生の現状把握と今後の方向性について協議した。これらの取り組みについては、カリキュラム検討ワーキンググループ全体会において報告され、高校と大学の教員による意見交換を行った。

●高大連携科目及び学校設定科目への協力

龍谷大学付属平安高等学校の特色ある教育展開を促進するため、高大連携科目の実現を目指し、「現代を学ぶ」と「理数研究」の2科目について、大学教員によるデモ授業を実施するとともに課題の検証を行い、2010年度からのシラバスを決定した。また、学校設定科目である「福祉」及び「国際理解」のワーキンググループを新たに設置し、当該科目のカリキュラムの作成及び授業内容に対する助言等を行うとともに、高校の授業担当者が本学で開講されている講義やシンポジウムに参加する等の教員研修に協力した。このことによって、生徒が主体的に参加し、楽しみながら学ぶことを目的とした体験型の授業の実施につながり、付属校独自の魅力ある科目として展開することができた。

●課外教育・入学前教育に関するワーキンググループの設置

2011年度に付属平安高校の第1期生の入学を見据え、他の学生の模範となるような付属校生を高校と大学が協力して育てるため、高校の各教科主任と大学の各学部教務主任によるワーキンググループを組織し、これまで実施してきた1・2年生対象プログラムの検証及び3年生対象プログラムの検討を行い、付属校ならではの高大連携教育プログラムを完成させた。

●高大連携教育プログラムの実施

目的意識が明確で学習意欲の高い付属校生を育てるため、低年次からの系統的な高大連携教育プログラムとして、大学教員による大学での学びに関する講義、進路選択に資する職業ガイダンス、学部紹介ガイダンス等を実施した。

2 教育連携校・関係校との教育連携

●新たな教育連携校の拡充

教育連携校の更なる拡充を目的として、2009年度から、相愛高等学校を本学の教育連携校に位置づけた。相愛高等学校に対しては、同校生徒の進路学習支援を目的とした教育連携事業として、協定校対象模擬講義の提供、高校から大学への懸け橋となるよう教育連携校課題学習やオリエンテーション等を実施した。また、2010年度からの教育連携事業及び推薦入学試験制度等について教育連携協議会で意見交換を行った。

●教育連携校との教育連携事業

本学と建学の精神を同じくする教育連携校である北陸高等学校（福井県）、崇徳高等学校（広島県）、神戸龍谷高等学校（兵庫県）とは、教育連携協議会を各校と開催し、意見交換するとともに、生徒の進路意識の醸成と大学進学に向けた動機付け等をねらいとした進路学習支援型の教育連携事業として、出張模擬講義や演習実験、進路ガイダンス、入学前オリエンテーション等を実施した。

●龍谷総合学園「龍谷アドバンスト・プロジェクト」への協力

親鸞聖人の教え・浄土真宗の精神に基づく人間育成を建学の精神とする全国の龍谷総合学園加盟校16校から、生徒67名、教員16名が集い、生徒の課題探求型の学習活動を支援する「龍谷アドバンスト・プロジェクト」が本学大宮・深草学舎で開催された。本学はこのプロジェクトにおいて中核的な役割を果たし、「仏教」・「経営」・「環境」の3つのテーマすべてに講師を派遣し、学生サポーター18名とともに、2泊3日の合宿研修時の指導及びレポート評価等を行った。この取り組みは参加者の満足度が高く、好評を博した。

3 一般高校との教育連携

●高大連携協定校の拡充

本学は、近畿圏において、従来の指定校とは異なり、新たな高校と大学間の幅広い連携・協力関係の構築策として、高大接続を目的とした高大連携協定校づくりに取り組んでいる。

2009年度は、京都府南部及び大阪府の高校との連携を強化するため、指定校13校と新たに高大連携に関する包括協定を締結した。これにより、本学の協定締結校は、京都府・滋賀県・大阪府・奈良県の高校28校となり、近畿圏における本学の拠点校として確立した。

●高大連携協定校との連携事業

高大連携協定校とは、高校と大学の協議により、出張模擬講義、進路ガイダンス、大学見学の受け入れ、大学講義の聴講等、様々な双方向型の高大連携事業に取り組んだ。また、進路選択に資する高大連携事業として、協定校の生徒を対象に、全ての学部から模擬講義を提供した「龍谷大学デー」を実施した。その他、高大連携協定校の大阪市立高等学校には、高校の取り組みについて外部から評価を加えて提言を行う学校評議員制度における委員を派遣し、高校の学校運営を支援した。また、2010年度には滋賀県立玉川高等学校にも同様の委員を派遣することを決定した。

- **進路学習教材を活用した進路ガイダンスの実施**

本学では、高校の進路学習支援の一環として、高校生が将来の職業を見据えて大学の学部・学科選択ができるように、職業と学部・学科の関係や入試制度を紹介する本学独自の進路ガイダンス用冊子（『逆引き！学び発見BOOK』）を作成している。これらを活用し、高校の正課授業や正課外の時間に進路ガイダンス等を実施した。

4 その他の連携事業

- **「滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座」への協力**

地域貢献を目的とする事業の一環として、滋賀県教育委員会との協定に基づき、「滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座」として社会学部から大学体験講座を提供し、広く滋賀県立高校生を受け入れた。

- **「早期工学人材育成事業」への協力**

「理科離れ」等理工系学部志望者の減少が社会問題視される中、大谷高等学校が正課授業の一環として、生徒の主体的な学習活動の支援を目的に実施する「早期工学人材育成事業」に講師を派遣し、出張模擬講義を行うとともに、大学教員の専門的な知見から生徒の調べ学習に助言等を行った。